

1 題材 メールのやりとりについて考えよう

2 本時の指導と児童の活動

(1) 本時のねらい

相手の立場を考えて、メールをやりとりする大切さに気付くことができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

付箋紙を使い、対話的な学びとしての意見交流を行うことによって、新たな意見を自分の考えに取り入れ、自分の考えを深めることができるようにする。

(3) 準備

ワークシート、トークシート、意見交流シート、付箋紙

(4) 本時の展開

時間配分	学習活動	指導上の留意点
3分	1 学習課題をつかむ。	○ メールのやりとりについて、自分の体験を想起させることで、学習課題をつかみやすくさせる。
15分	2 メール体験を行う。 (3) (1) メール体験の方法を知る。	
	① メールテーマに沿って付箋紙に自分の考えを書き、トークシートに貼る。 ② 書いた順にトークシートに付箋紙を貼る。 ③ 時間を守る。	
(6)	(2) 返信が早いメール体験を行う。	○ 10秒以内に次の付箋紙を貼らせる。
(6)	(3) 返信が遅いメール体験を行う。	○ 1分たったら次の付箋紙を貼らせる。
15分	3 メールのやりとりについて、付箋紙を使った意見交流を行い、自分の考えを深める。	○ メールのやりとりは早いほうがよい立場と、遅くてもよい立場で付箋紙の色を変えて記入させ、意見交流シートに貼らせるようにさせる。 ○ 付箋紙の内容について、関連があるものは線で結ばせることで、考えの流れを視覚化できるようにさせる。
8分	4 意見交流を通して明確になった自分の考えを発表する。	○ 両者の立場の意見の中から、自分の都合を優先している意見を取り上げることで、どのような状況でも相手を思いやりながら利用することが大切であることを確認する。
評価事項 友達と意見交流する中で、相手の意見を取り入れ、自分の考えを深めることができたか。 <div style="text-align: right;">【ワークシートへの記述】</div> □… 自分が得た考えを、周囲にも啓蒙できる方法はないか考えさせる。 ☆… 友達から貼られた付箋紙の意見を振り返り、教師の助言を得ながら、自分の考えに取り入れられそうな意見を選択するようにさせる。		
4分	5 活動を振り返る。	○ 活動を通じ、学んだことを自分の言葉で子どもに発表させる。

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動